



Vol. **9**
2019

'19 春闘に向けて

労働者・入職者に 魅力ある 生コン業界へ

- KURS議長 岡本 幹郎氏
- KURS事務局長 岡元 貞道氏
- 連合・生コン産業労働組合 執行委員長 北小路 敏樹氏
- 全日本建設交運一般労働組合関西支部 執行委員長 本多 裕重氏
- UA ゼンセン関西セメント関連産業労働組合 執行委員長 林 圭二氏
- 関西レディーミクスト労働組合 執行委員長 来間 輝樹氏



生きる 生コンクリート



安心できる暮らしと社会と未来のために…



大阪広域生コンクリート協同組合

<https://www.osaka-kouiki.or.jp/>



@osakakouikinama

CONTENTS

004 **'19 春闘に向けて**
労働者・入職者に、魅力ある生コン業界へ。

024 **KURS レポート 第7回**
〈第25回全国建設研究・交流集会〉同行レポート
「福島県 帰還困難区域視察」

協賛団体

- 013 大阪兵庫生コンクリート工業組合
 - 013 一般社団法人西日本建設関連オーナー会
 - 013 和歌山県生コンクリート工業組合
 - 013 大阪府砂利石材協同組合
 - 013 神戸みなと建設協議会
 - 013 大阪広域輸送協同組合
 - 013 関西圧送協同組合
 - 016 大阪広域生コンクリート協同組合
 - 022 和歌山県広域生コンクリート協同組合
-
- 014 ぶら〜り プラント訪問 PART.1
 - 026 YUI 掲示板





労働者・入職者に、 魅力ある 生コン業界へ。

’19春闘に
向けて

2019 SHUNTO

2019年3月、KURRS(近畿生コン関連協議会)は、発足して2回目の春闘をむかえる。この度の19春闘を進めるにあたり、4労組の委員長が集結。昨年の動きを総括し、どのように19春闘に臨むかを語り合った。集団交渉直前に行われた座談会の模様をお届けする。

**連帯労組が居ない中、
業界を正常に戻したい。**

岡元 KURRS事務局長の岡元です。本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。私は今日はコーディネーターを務めさせていただきます。

さてKURRSの4労組で19春闘に取り組む

ということは初めてのことです。それで昨年、連帯労組との決別以降、広域協組の方も威力業務妨害ということで、KURRSと連携して、連帯労組の蛮行を許さないという取り組みを、昨年1年間やって来ました。それで今年の広域協組の新年互礼会で、木村理事長の方は、対策本部と弁護士団の解散を宣言し、連帯労組との争いには、ひとつのけじめがあったということ、今は大阪地裁をはじめ大津地裁などで連帯労組の行為について断罪される裁判がはじまっています。そこで、この1年を振り返って、各労組のトップがそれぞれどう捉えているのかを述べて頂いて、話を進めていきたい。

本多 連帯労組との関係でいえば我々は共



KURS 事務局長の岡元貞道氏。

闘、中断という形を繰り返してきた。特に一昨年のストライキと称する彼等の行動の理由が、あまりにも明確にならないことから、我々は支持できないということを決別し、新たにKURSという団体を3労組で立ち上げる中で、やはり連帯労組の良くない本質が見えてきた。何かあれば強権的・集团的に、企業だけではなく個人の家まで押しかけるような手法、それによって、経営している人たちの社会的な地位の失墜などを含めてやっていく手法が、今回の大量逮捕で断罪された。労働組合であるならば、行動ありきではなく、まずは交渉をしっかりと進める中で、今の時代背景などもしっかりと見比べた中で、どういうことを進めていくのかを話し合うことが、重要

だと認識しています。ここで我々と連帯労組との違いが明確になった。この1年で、我々が試される新たな部分がこれから出てくると感じています。

北小路 生コン産労としては、30年来、彼らと一緒に行動したり離れたりする中で、我々に対する連帯労組の圧力、嫌がらせというものを見ってきました。そして決別した。連帯労組がやってきたストライキに関しては、生コン産労として容認できないような、行き過ぎた行動も多々ありました。そのような行動により何度も捕まっているのに、同じことをするというのは、時代錯誤とっております。これからも連帯労組がない中において、我々4労組、労供連の皆さんと、業界を正常にもどしていきたいと思っております。

岡元 林さんはこのようなことを見てきて、どのように捉えていますか？

林 連帯労組とは昔から、運動方針がまったく違う。でも違和感を持ちながらも仕方がないと思っ、一致する点でみんなと集まって行動してきました。でもやっぱり運動方針が違つから、行動が違つてしまつということ、昨年こついう形で決別して1年になりましたけど、やっぱり業界から、排除・根絶しかなければいけません。この業界に関わらないでほしい。根絶はできないなら、別の業種でやってくれとこつことは感じました。



KURS 議長の岡本幹郎氏。

岡元 レディーミクストから見た今のKURS、また連帯労組をどうみているのかな？

来間 ウチは組織としてまだ新参なんです。元々立ち上げの時には連帯労組にいて、この体制はダメだと言つこと、1人の方が手を上げて出来たのが、我々の関西レディーミクスト労働組合です。その中で私たちが去年から和歌山や京都に行つていろいろ見たなかで、やっぱり連帯労組のやり方はダメだなと感じた1年でした。私たちは労働組合なので、これからは労働者を守るために、しっかりとやっていきたい、そう思うのが今現在の私の心境です。



全日本建設交運一般労働組合関西支部 執行委員長の本多裕重氏。

日々雇用に焦点を当てた 18春闘は、歴史的第一歩。

岡元 そこで次に、連帯労組との決別から1年、いろんなことが進められ、昨年は18春闘で当初の3労組が4労組になったのですが、昨年は慢性的な人手不足、圧倒的多数が非正規ということで、日々雇用や備車に頼る就労形態にシフトが変更されて、我々、KURSは春闘を進めるにあたって「労務コストの平準化」を目指しました。そして日々雇用労働者に焦点を当て、月額賃金の底上げや福

利厚生資金の支給ということで、KURS未加盟の労使関係のところに対しても福利厚生の対象にして、KURSの労供事業以外のところにも8,000円に到達していないところは引き上げていただく、ということでも圧倒的多数の非正規に対する処遇改善を図りました。

本多 正規労働者・非正規労働者が混在して、さらに圧倒的多数の未組織労働者が業界の中にいるということであれば、一部労働組合に加入している人たちが賃金や条件が引き上がる。またこれは応分の負担ではない。ということ、日の当たらない労働者に対する救済的な春闘になったと言ったことでは評価できると思っています。福利厚生でも同じことが言えます。当然いままでそういう機会や交渉の関係すら持てなかった人たちに供与されるということは、業界もそれを行うという英断を下したということもあります。「ファミリーフェス」については内容はともかく、ああいうことが今後継続できるようになっていければ、更に業界の発展に繋がっていくと思います。僕は18春闘については、産業的な側面からみたときには大きな評価ができると思っています。

岡元 そこはどうですかね北小路さん。

北小路 やっぱ、この業界は9割方が日々雇用労働者なので、その方たちの賃金、

地位向上を目指すためにも、福利厚生資金や月額賃金でアップしていくのは、非常に良かったと思っています。そして「ファミリーフェス」についても、労使協調で業界全体を盛り上げるために開催されたことは、本当に良かったと思っています。

岡元 いま2労組の方から、昨年の春闘の評価について大方出されましたので、連帯労組との一定のけじめがついて、これからはKURSと経営者側も、新たな関係づくりをスタートさせる中で、さまざまな思惑もいろんな経営者から聞きます。今年の19春闘の取り組みにあたって、本当にKURSが試される春闘になると思います。KURSとして春闘の必要性について、僕は、我々が労働者の生活を維持していくことのほかに、労使関係の中でいろんなチェック機能が働くことも、労働組合の重要な役目だと思っています。そこで次期春闘にどう取り組むかということ、簡単に述べてもらえますか？今度は来間さんの方から、今年の春闘はどうかということについて。

来間 今、皆さんがおっしゃられたように、日々雇用労働者にスポットを当てた賃金や福利厚生資金の底上げについても、「ファミリーフェス」のような催事についても、非常に良かったと思っています。まあ、経営者側の思惑はこれから分かってくるんじゃないかと、ウチとしては今後ともKURSの中の一労組

として、一丸となって、集合交渉をやっている
ければ良いなと思っています。

岡元 なるほどわかりました。林さんは？

林 今年は正念場ですよね。でも一段落つ
いたことで、これからは経営者側が、KURS
Sに対して新しい見方をしてくるだろうとい
う印象は、挨拶やコメントを聞いていて、僕
もそう感じました。でもせっかく日々雇用労
働者に焦点をあてた18春闘で成功した形を、
本心に理解していただいて、便利使いでなく、
正社員と日々雇用労働者を、目的や案件内
容によつてうまく使い分けてほしいですね。
まあ、時代背景もありますけど、そうじゃな
いですよと言つたことを、見せる年だと思いま
す。

**過去を反省しつつ、
対話を軸に、対等に。**

岡元 先日の事務折衝では、19春闘統一要
求は統一要求で答えていくと言つたことが述べ
られており、交渉形態は昨年と同じように集
合交渉ということは確認してきました。連
帯との決別から一年、昨年の春闘の評価、そ
れで19春闘をどう取り組んでいくのかと言つ
たことをそれぞれ述べられたので、岡本議長よ
り、19春闘に取り組む必要性を含めて、まと
め的な意見、見解を出してもらえたら……。

岡本 今年の組合としての要求は厳しい対
応を求めています。しかしその中で力関係
は均衡な状態で、対話をしなければいけない。
労働側はそれぞれの組織の事情がありながら
も、それに見合った便宜を図っている。事業
者側はどうだろう？ 事業者は利益を追求する
のが本分。その手法もバラバラ。また労使関
係があるところだけの要求ではなくて、先程
から話題になっている日々雇用の問題。これ
は業界として正常じゃない。ここを基本に置
くべし。事業者としてどうあるべきかと、過
去来、連帯労組の戦略にどうぶりとコメント
メーカー、輸送事業者、バラ業者、みんなが
乗っていった。そしてその一端として労働組
合側の責任もある。そういう状態で、あるべ
き労働条件を含めて、春闘で主張していく。

ただし業界を発展に導くには、対立型ではい
けない。それをじっくりと話し合いを軸にした
中でやる。事業者側も個々の形態がある。地
域差もあります。労使関係の有るところ無い
ところの意識の差がある。それぞれの事業状
態をオープンにする必要はないけど。業界の
あるべき姿としての日々雇用の考え方を聞か
せてほしいと、私たちから聞いていく必要が
ある。それはアドバイスも含めてやる。労使
労組の団体でやっていますが、実質は、労働
組合の体をなしていないので、要求を出せる
状態ではない。そこでの協調を、今回KURS
Sでどう取り組むのかということです。今期
は再スタートだと思う。私も武氏とは半世紀
の付き合いがあり、皆さんに対して大きな責

任がある。ここに踏ん切りをつけて去ってい
こうという意識をもっていますので、皆さん
頑張ってくださいませう。

岡元 集合交渉は対等な場ですから、議長
も言われたように、対話を軸にお互いが是々
非々(良いことは良い、悪いことは悪いと公
平な意見)を言つて、お互いが思いを述べて、
問答するというのが交渉形態になっていけばと
思っています。

話はちよつとそれですが、今は岡本さんも
KURSの議長をやっていますけど、50年来
の付き合いで武氏を見てきた。それで業界の
側からよく言われているのは、もちろん連帯
労組は、平和を乱す行為をやった責任がある



連合・生コン産業労働組合 執行委員長の北小路敏樹氏。



UA ゼンセン関西セメント関連産業労働組合 執行委員長の林圭二氏。

けど、それを止められなかった側の責任もあると、こう言われている。岡本さんが言った通り責任の一端はあります。だからそこは我々はこの1年、業界側と一緒に、その反省の立場に立って対策を講じてきた。労働組合にあるまじき行為は絶対に許されない、許したらあかんとやってきたのは、反省があつてできることやと思つた。そこはそこ思わないと。皆さんはどう思っていますか？

本多 連帯労組の行動を見れば、当然そうです。我々建交労とは、運輸一般時代に一緒にやってきたけど、連帯労組が執行部をやっている時に不明瞭な会計が出たことに端を發して袂(たもと)を分けた。その間、労組間同

士で激しい裁判闘争や、現場でのイザコザも含めてたくさんやってきた。例えば連帯労組は、自分たちも労働者なのに何かあれば労働者の首を切れと迫る。そういうやり方で、1つであった塊が分断された。労働者同士の分断ですよ。でも立場的に言ったら、労働者は資本を持たない弱い立場だから、大きな塊の中でどう出来るかということ。これが無かったら経済力を持っている経営者側と対峙できないわけで、今回はそういうところも考えなくて、しっかりやっていけたらと思っています。

岡元 先ほど岡本さんも言われたように、振り返ってみて反省点はすぐあつて、もちろん我々も何もしてこなかったわけでもないけど、反省の立場に立たなかったら、この1年の取り組みも出来なかったということも事実だし、この辺は経営側にもきちつと見て、評価すべきところは評価していただきたいと、僕はそう思っているし、そうでなかったら僕らも一生懸命に取り組めない。そういう点ではこの1年、本来あるべき姿に戻つたと思つているし、一緒に色々つてきたので、そういう評価でまとめておきたいと思つています。それで、あと次期春闘にどう取り組むのかということ、先だつて事前折衝を、岡本さんと寺岡さんと私と本多さんとでさせてもらつて、今年の形態は集合交渉で行う事となりました。それで、この春闘で僕らの中心的な課題を、各委員長が、どう考えているのか、林さんなんかはバラの問題、來間さんなんかは

企業内の考え方もあるだろうし、それぞれ一言コメントを出してもらえたら、いいなと考えています。

本多 当然、正規労働者の賃金引上げは求めていきたい。ただそれぞれが持っている条件にバラツキがあるので、到達点は底上げ的な印象になってくると思います。それと日々雇用者の条件を、昨年から更に平均的なものにどう上げていってもらえるのかということ。当然、人手不足はこの業界だけでなく、昨日の新聞にも載っていましたが、阪急バスは、人員確保のために、今までは有期雇用でしか雇わなかったのに、4月から入る人は全て正規化するらしい。人員確保のために企業が思い切つた手立てをとるということが必要だと思つています。この春闘では、そのことを経営者がどう考えているのかも問いかけていきたい。それなりに入職できるような条件の整備についても、聞いていきたいと思つています。

岡元 建交労の方からは、安定供給のためにも、非正規の正規化は、業界の社会的責任ということとやるべきだといつことですが、産労さんは、何か中心的なことがあればだしてもらえますか？

北小路 いろいろありますが、経済要求に関して、あるべき賃金にどうしたら近づけていけるか、また、低賃金の人の賃上げと、合理化で賃金ダウンされているのを戻すの

と、60歳以上の人の賃金を、どうアップするかという取り組みをしていきたい。

岡元 林さんの、バラ関係の問題はどのようですか？

林 バラセメント関係では、18春闘でも、2つの協同組合にばらけてしまった部分があるのですが、今回はそこから統一してもらわないと。まず、一つのまとまりを作ってもらって、その代表者を決めてもらって、交渉形態を作らないといけない。その段階から進めていかなければならない。

岡元 先日は、近バラという協同組合が解散したことで、オーナー会の菅生会長からは、広域輸送協におけるバラ部門というセクションを作る必要があると言われていたので、経営側のバラ部門体制どう作るのか、これはこっちの方から説明しないといけないと思います。あと、レディーさんとこの中心的なことはないですか。

来間 ウチは日々雇用労働者の労働組合として、働く側の意識改革と、工場側の意識改革を掲げた上で指導やアドバイスをし、意識改革を進め、その上で、日々雇用の福利厚生を、しっかりと要求していきたいと思っております。

労働者の権利義務は、 業界全体の問題。

岡元 正規の労使関係者の問題もありますけど、やはり、多数の所に焦点を当てるということは全委員長が一致しているので、そこはKURSとしても、要求趣旨説明の時に、メリハリを付けてやっていこうと思います。産労の北小路さんから言われた、今の状態で合理化をやっている所、それと60歳以上の賃金の取り扱いについては、企業間、また労組間でのアンバランスが起きている問題で、今後そこをどうするかは、オーナー会でモデル労働協約ができて、モデル賃金を作るということなので、その中でそれを組み込んで、そういう企業のところは、個別にするのか、全体的に改善すべきだとするのか、三方良しと言っているわけですから、そういうことが取りつけられたら、個別交渉の交渉促進になるので、そういう方向で進めていこうと思っております。

本多 先ほど来間さんが言われた、働き手の意識、権利義務の問題は大事だと思えます。昨年KURSで安全講習会をやったように、こういうことは継続してしっかりとやる必要がある。僕はよく言っていますが、組織されている労働者は、より良い労働者でないとダメだと。自分たちはしっかりと働き手として義務を果たして、しっかりと要求できるよ

うなお互いの総合的な感覚を磨く、そういったことで、経営者の方に機会を与えてもらえるようなシステムづくりに、資本を当ててもらって、我々も協議して一緒にやっていけるように、この春闘で求めていく必要があると思っております。

岡元 求めていく側も今、来間さんも言われたけど、義務の問題は重要ですね。業界の団体の人と話をすると建交労は「適正な能力としては欠けている」とよく言われるのですが、本多さんは要求や権利主張をするのなら、最低限の労働者としての義務を果たすべきと。そういうところは北小路さんどうですか？



関西レディーミクスト労働組合 執行委員長の来間輝樹氏。

北小路 そこはウチも、指導していいです。

岡元 経営側も、そこは一部だけを見て言っている気がする。建交労も全員がダメなことも無いわけで、一部の不服者を見て、それが全てみたいに言われたら、執行部としてはそうじゃないと言いたいですよ。経営者が組合のトップを前にして、それだけを拡大して言うてくるのは、一番嫌やね。そこは僕ら常に言うてきたので。100人いたら100人全員がスキルアップ出来ているわけじゃないので、それを全部がアカンように言われたら、やっぱり僕らも、言うことは言わなアカンと思います。そう言ったところは岡本さん、まあもう働くことは無いとは思いますが、組合員の権利義務については一番分かっている方々だと思いますので、どうですか？僕はそんなこと当たり前で、働いている以上は、適正な能力を発揮しなければ、権利主張できないと思っっているんですけど。

岡本 結局、組合の方では、一部は本当に一部なのか？そして会社側に対しては、問題はないのか？まあ、企業側からは半分おちよくりながらやと思うけど、指摘されたら交渉団が恥かくような問題は、全体の集会でやればいい、みんな同じ業界の仲間と違うのかと言いたい。

岡元 さて後は、これだけたくさん要求・課題があるので、それを踏まえて交渉をどう進めるか、KURSの4労組が初めて取り組む春闘、ここでどう4労組団結が一丸となって経営側に当たるか、先ほど言われたように予め統一要求出しました、その時に返ってくる言葉なんかも、想定しておかなければならないと思う、そのために僕は事前折衝を何回もやったほうがいいと思う。そのためにはデータ・情報が必要。本多さんとも話していたけど「調査無くして発言権なし」で、どれだけの情報を4労組で共有できるのかと、僕は交渉するときにそれにかかっていると。最後にこの次期春闘に取り組む、それぞれトップの決意を述べてもらって、終わりたいと思います。北小路さんは春闘にどういう意気込みで挑みますか？

人手不足を認識して、魅力ある業界に。

北小路 とりあえず人手不足、人がいないというのが企業側にわかってもらって、その中において、どのようにしていくか、どのようにに人手不足に対応して、やっていくかというのを充分理解してもらった上で、春闘に入っていくてもらいたい。

本多 セメント・生コン業界の元請けであるゼネコンは、政府の強靱化政策の進み具合

とか東京オリンピック、これからは大阪万博とかで空前の大もうけをしている、また見込まれるということで、我々の業界についても、それにけん引される部分が当然出てくる。資材も上がる。その部分を合わせて、新たな単価が決められてくる。広域協組が今、三方良しという理念の中で、そこで働いている人たちの状況が、本当に三方良しになっているのかということを見る上では、入職者に魅力があるような産業にすることに意義があるし、春闘が安定した環境をつくる協議の場だと思っっているので、全体を見る中での19春闘を進めていきたいと思っいます。

岡元 林さんとはバラバラから、バラの業者にどう一つにまとまってもらえるのか、こちらの側からアプローチが無かったら、すすまない。バラの運賃だってバラバラで、それぞれが競争している、それはやっぱり競争することはないと、運賃の引上げというのは不可能になってくるから、そこは理屈もってやっていかないと、バラの業者さんに言いたいこと含めて、UAとしてはどう考えてますか？

林 ウチの場合だと約30台位の車があるなかで、社員が6台しかない。後は全部、アルバイトと傭車とを使い分けていて、同じ仕事をしている中で歪みが出てきている。運転手同士でもグループができて、まとまりがない中で、非正規の正規化を目指してやりたい

と思っています。

来間 ウチの場合は、日々雇用労働者の地位確保、それから労働者側が見たときに、「あの組合にいけば、ちゃんとやってくれるよ」と思われるように、知名度と信頼性を高めて、組合員をたくさん増やしていかなければならない状況なので、私たち組合自体も考え方を新たにして、組織を拡大していければと思っています。

國元 ありがとうございます。という事で、今日出てきた意見をもとに、19春闘を頑張っていきたいと思います。取り留めないコーディネーターですみませんでした。

全員 うしものいじり(笑)。



労供連絡協議会

組合員 募集!!

組合に加入しよう!!

加入お待ちしております、お気軽に声をかけてください。

業務内容

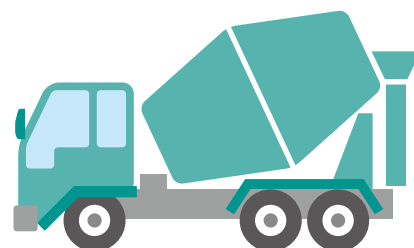
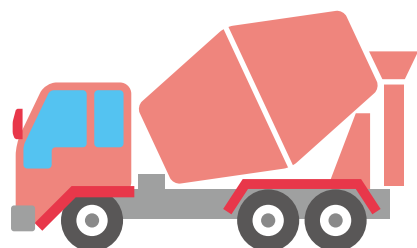
4t~10t
コンクリートミキサー車
乗務

労供連絡協議会は、西日本建設関連オーナー会と連携、協力関係にある優良団体です。

コンプライアンスの確立された、安心、安全な職場環境で、あなたの力を発揮しませんか？

ただいま近畿一円の生コン業界の発展を担う人材を広く募集しております。

労供連絡協議会加盟の各団体に是非ご加入下さい。



連絡先 TEL : 06-6886-3322

大阪兵庫生コンクリート工業組合

理事長 木村 貴洋

〒 530-0001 大阪市北区梅田 1-1-3 大阪駅前第3ビル 4F 5号
TEL 06-6344-5231 / FAX 06-6344-7705

一般社団法人西日本建設関連オーナー会

会長 菅生 行男

〒 541-0048 大阪市中央区瓦町 2丁目 4番 7号 新瓦町ビル 4階
TEL 06-6222-5102 / FAX 06-6222-5103

和歌山県生コンクリート工業組合

理事長 丸山 克也

〒 641-0036 和歌山県和歌山市西浜 1660 番地 291
TEL 073-445-0377 / FAX 073-445-3524

大阪府砂利石材協同組合

理事長 千石 高史

〒 530-0003 大阪市北区堂島 2丁目 1番 27号 桜橋千代田ビル 5階
TEL 06-6344-5572 / FAX 06-6344-5574

神戸みなと建設協議会

会長 山田 高広

〒 654-0049 神戸市須磨区若宮町 1丁目 1番 6号
TEL 078-731-1830 / FAX 078-732-2920

大阪広域輸送協同組合

理事長 浦野 正国

〒 541-0048 大阪市中央区瓦町 2丁目 4番 7号 新瓦町ビル 3階
TEL 06-4394-7220 / FAX 06-4394-7221

関西圧送協同組合

理事長 清田 正春

〒 652-0866 神戸市兵庫区遠矢浜町 5-20 2F
TEL 078-686-0236 / FAX 078-686-0246



このコーナーでは、
大阪広域生コンクリート
協同組合に所属する
生コン工場を、
順次ご紹介します。

ぶら〜り プラント訪問 PART.1

訪問先／和泉生コンクリート株式会社

「生コン工場」と「研究所」の 二刀流プラント！

生コンの製造販売と、新開発・品質管理ノウハウを提供します。

阪神高速4号湾岸線沿い、りんくうJCT
北東に立地するのが、今回ご紹介する〈和泉
生コンクリート株式会社（以降、同社）だ。

同社は、昭和39年に設立。元々はもう少し
内陸部の関西空港自動車道路沿いにあった
が、平成4年に関西国際空港建設のタイミン
グで現在の湾岸線沿いのロケーションに移転
した。

建物は、環境への配慮を強化している地区
ということもあり、ミキサー・セメントサイ
ロをすっぽり壁で囲ったユニークな構造の工
場となっている。従業員は9名、うち5名は
コンクリート技士というプロ集団だ。

◆
平成23年に代表取締役就任した雪本清人
氏は、工学修士の学位をもつ根っからの科学
者で、さまざまな特許も取得している。工場

として取り組んでいるテーマは、基本的な環
境の見直しだそう。

雪本氏は大学時代から界面活性性についての研
究を続け、現在、同社で採用している〈フア
インバブル水〉を開発、コンクリートの黒ず
み抑制、産業廃棄物の低減、施設内での埃の
低減など、生コン自体の品質改善だけでなく、
工場設備の環境改善を実現、研究は研究開発
部によって現在も継続されている。

具体的な研究テーマは、産業廃棄物として
処分されるスラッジケーキの水分を減らす際
に、脱水機を使うよりも低コストで良い状態
の水を作り出すシステムを開発、これ以外に
生コンクリートに関する技術開発・研究をし
ておられ、学会にも発表。ほかに温度管理シ
ステムの研究も行っている。そして同社は、
これらのノウハウを自社で活用するほか、他

和泉生コンクリート株式会社

■施設概要

- 所在地…大阪府泉佐野市りんくう往来北 1-15 〒598-0048
- 設立…1964年4月
- 製造能力…ミキサー／3000L x 1台・セメントサイロ(4本) 骨材用サイロ(8本)
- ホームページアドレス…<https://izumi-concrete.com/index.html>



の生コン関連業界に提供もしているのだ。

◆ 輸送部門には、自社車輛(4t)・外注車輛(大型)が常駐、輸送管理はGPS配車管理と無線を併用するなど、「新しい技術を積極的に取り入れ、遅れを取らないよう工夫している」と、現場を取り仕切る、工場長の麻生川武史氏は語ってくれた。そして周辺に住宅は無いものの徐行、粉塵防止、アイドリングストップなどを励行。また年2回のドライバー社内教育も実施している。

◆ さらに同社は、地域貢献活動に力を入れており、近隣の教育施設からの工場見学、職業体験、一般企業の工場見学の受入や清掃活動に積極的に取り組まれ、地域のお祭りの復活にも協力するなど、雪本社長はその手腕を大いに発揮されている。

平成31年度には、ファインバブル水を利用した埃と泥の低減を試みる予定であり、研究の仕上げには、一般の方々に工場を見学いただき評価をいただくそうで、今から楽しみにしておられる。

同社は、生コン工場としての機能だけでなく、生コン業界の発展に貢献する研究所として、まさに二刀流のプラントだった。

大阪広域生コンクリート協同組合

中央ブロック / 北ブロック / 東部ブロック / 西ブロック / 南ブロック / 阪南ブロック / 北摂ブロック / 神戸ブロック / 播磨ブロック / 淡路ブロック / 北神ブロック / 兵庫西部ブロック



私たちは、お届けする生コンの品質を保証するため、独自のブランドを立ち上げました。

それが「コンクリード®」。

業界をリードするという自負のもと、ユーザーや社会の信頼に応えるべく、4つの理念

品質保証・安定供給・適正価格・社会貢献

に基づく良質な生コンクリートをお届けしています。

理事長 木村 貴洋

〒541-0048 大阪市中央区瓦町2丁目4番7号 新瓦町ビル5階
TEL 06-6222-5661 / FAX 06-6222-5662

中央ブロック

大阪アサノコンクリート(株)津守工場	〒557-0063	大阪市西成区南津守 2-1-90	TEL 06-6651-1601
(株)アップワン	〒551-0021	大阪市大正区南恩加島 5-14-2	TEL 06-6555-3939
(株)岡本生コンクリート 本社工場	〒554-0052	大阪市此花区常吉 2-2-27	TEL 06-6462-5803
(株)岡本生コンクリート 港工場	〒552-0013	大阪市港区福崎 1-3-41	TEL 06-6574-3061
(株)関西宇部 北港工場	〒552-0022	大阪市港区海岸通 4-2-23	TEL 06-4395-9300
(株)関西宇部 港工場	〒552-0022	大阪市港区海岸通 4-2-23	TEL 06-6575-1414
(有)さくら生コン	〒559-0011	大阪市住之江区北加賀屋 3-1-5	TEL 06-6684-3939
(株)千石 大阪工場	〒554-0012	大阪市此花区西九条 2-14-27	TEL 06-6463-0300
(株)千石 此花工場	〒554-0012	大阪市此花区西九条 7-1-6	TEL 06-6463-0300
(株)中央大阪生コン 本社工場	〒557-0062	大阪市西成区津守 3-6-1	TEL 06-6656-0055
(株)中央大阪生コン 木津川工場	〒557-0062	大阪市西成区津守 1-14-34	TEL 06-6566-0055
(株)八光 なみはや工場	〒551-0023	大阪市大正区鶴町 4-1-2	TEL 06-6552-8519
(株)八光 鶴町工場	〒551-0023	大阪市大正区鶴町 4-1-20	TEL 06-6556-3785
極東一生コンクリート(株)本社工場	〒557-0062	大阪市西成区津守 1-14-12	TEL 06-6568-3900
新関西菱光(株)大阪工場	〒552-0013	大阪市港区福崎 1-2-8	TEL 06-6576-1131
新泉生コン(株)春日出工場	〒554-0012	大阪市此花区西九条 7-3-2	TEL 06-6462-8701
大黒生コンクリート(株)	〒554-0052	大阪市此花区常吉 2-2-25	TEL 06-6462-1000
築港生コンクリート(株)本社工場	〒552-0013	大阪市港区福崎 2-10-14	TEL 06-6571-5557
阪神生コン建材工業(株)本社工場	〒557-0062	大阪市西成区津守 3-6-25	TEL 06-6659-0912
阪南産業(株)港工場	〒552-0022	大阪市港区海岸通 3-4-82	TEL 06-6599-0005
報栄生コン(株)本社工場	〒559-0025	大阪市住之江区平林南 2-10-50	TEL 06-6682-1053

北ブロック			
大阪アサノコンクリート(株) 淀川工場	〒 553-0014	大阪市東淀川区豊新 2-14-9	TEL 06-6328-6992
(株) 永和商店 第一工場第二工場	〒 553-0022	大阪市東淀川区菅原 4-6-23	TEL 06-6329-9527
(株) 江坂資材 摂津工場	〒 567-0865	茨木市横江 2-8-13	TEL 072-636-0112
(株) 関西宇部 吹田工場	〒 533-0006	大阪市淀川区上新庄 1-2-14	TEL 06-6327-1000
(株) ティーワイケイ高槻生コン 本社工場	〒 569-1012	高槻市大字成合 133-4	TEL 072-688-7900
(株) ワールド	〒 567-0853	茨木市宮島 3-3-27	TEL 072-634-7177
北大阪菱光コンクリート工業(株) 箕面工場	〒 562-0026	箕面市外院 1-1-4	TEL 072-729-2041
新大阪生コンクリート(株) 本社工場	〒 567-0053	茨木市豊原町 7-6	TEL 072-643-6781
新三和生コン(株) 本社工場	〒 569-0023	高槻市松川町 11-7	TEL 072-675-5585
ダイワN通商(株) 高槻工場	〒 569-0831	高槻市唐崎北 2-23-11	TEL 072-677-1377
中央コンクリート(株) 本社工場	〒 553-0022	大阪市淀川区菅原 4-6-17	TEL 06-6329-2231
ナニワ生コン(株) 本社工場	〒 567-0057	茨木市豊川 3-7-10	TEL 072-643-0963
藤原生コン(株) 本社工場	〒 567-0027	茨木市西田中町 2-31	TEL 072-622-4988
(有) 植田生コンクリート工業 本社工場	〒 569-0831	高槻市唐崎北 2-1-2	TEL 072-677-6339
(有) 西半生コン 本社工場	〒 567-0072	茨木市郡 4-8-1	TEL 072-641-5935
(有) フレシアコンクリート	〒 566-0052	摂津市鳥飼本町 2-8-29	TEL 072-653-3823
東部ブロック			
大阪大進生コンクリート(株) 本社工場	〒 577-0835	東大阪市柏田西 2-16-20	TEL 06-6728-8016
(株) 稲田巳建材	〒 579-8001	東大阪市善根寺町 4-6-31	TEL 072-984-0227
(株) 大阪こーさい	〒 547-0003	大阪市平野区加美南 4-4-51	TEL 06-6795-5531
(株) オクノナマコン 第一・第二工場	〒 576-0051	交野市倉治 6-44-1	TEL 072-891-1112
(株) オーシャン 平野工場	〒 547-0048	大阪市平野区平野馬場 1-3-9	TEL 06-6793-8788
(株) 光和	〒 581-0845	八尾市上之島町北 6-15	TEL 072-928-2626
(株) 五一	〒 577-0848	東大阪市岸田堂西 2-2-14	TEL 06-6728-8686
(株) サン生コン	〒 572-0075	寝屋川市葛原 1-31-11	TEL 072-815-0100
(株) 三友生コン	〒 572-0855	寝屋川市寝屋南 2-13-16	TEL 072-821-6019
(株) 長谷川建材	〒 571-0017	門真市四宮 1-2-28	TEL 072-881-5104
(株) 八光 加美工場	〒 547-0001	大阪市平野区加美北 5-10-10	TEL 06-6793-6458
加美コンクリート(株) 本社工場	〒 547-0003	大阪市平野区加美南 1-7-8	TEL 06-6792-2255
三和生コン(株) 本社工場	〒 581-0036	八尾市沼 4-72	TEL 072-948-1133
タイコー(株) 枚方工場	〒 573-0064	枚方市北中振 4-10-3	TEL 072-831-4421
寝屋川コンクリート(株) 本社工場	〒 572-0039	寝屋川市池田 2-11-62	TEL 072-829-6261
堀之内建材(株) 本社工場	〒 573-0001	枚方市田口山 1-16-1	TEL 072-850-3900
守口菱光(株)	〒 570-0043	守口市南寺方東通 6-14-10	TEL 06-6996-9001
(有) 大久保建材生コン 門真生コン	〒 571-0076	門真市大池町 16-18	TEL 072-886-0002
(有) 大久保建材生コン 寝屋川枚方生コン 第一・第二工場	〒 572-0088	寝屋川市木屋元町 8-6	TEL 072-835-9999

西ブロック			
伊丹コンクリート工業(株) 本社工場	〒 664-0845	伊丹市東有岡 4-15	TEL 072-782-8076
稲葉生コンクリート(株)	〒 660-0085	尼崎市元浜町 1-75-1	TEL 06-6419-5511
今津生コン(株) 本社工場	〒 660-0832	尼崎市東初島町 3	TEL 06-6489-3801
海山コンクリート(株) 宝塚工場	〒 665-0825	宝塚市安倉西 1-206-1	TEL 0797-87-7581
海山コンクリート(株) 西宮工場	〒 669-1101	西宮市塩瀬町生瀬字赤子谷 1137	TEL 0797-85-1244
(株) 旭生コン 本社工場	〒 661-0953	尼崎市東園田町 7-51-1	TEL 06-6497-3333
(株) 天城建材センター 本社工場	〒 660-0845	尼崎市西高洲町 16-22	TEL 06-6419-7701
(株) 江坂資材 吹田工場	〒 564-0054	吹田市芳野町 2-21	TEL 06-6339-3663
(株) 大浜資材	〒 660-0095	尼崎市大浜町 1-18-2	TEL 06-6430-6672
(株) 北大阪生コン	〒 532-0001	大阪市淀川区十八条 3-12-14	TEL 06-6393-1357
(株) 北口商店 本社工場	〒 561-0856	豊中市穂積 2-6-7	TEL 06-6863-0935
(株) 協和東海岸コンクリート	〒 660-0843	尼崎市東海岸町 1-14	TEL 06-6409-6241
(株) 啓徳	〒 662-0934	西宮市西宮浜 1-1-1	TEL 0798-35-7500
(株) テシマ 鍛冶生コン 川西工場	〒 666-0022	川西市下加茂 2-77-2	TEL 072-755-4469
(株) 博田商店	〒 662-0934	西宮市西宮浜 3-22	TEL 0798-22-7701
(株) 藤田建材店 大浜工場	〒 660-0095	尼崎市大浜町 1-19-4	TEL 06-6413-8118
(株) 丸正建材生コン	〒 562-0015	箕面市稲 3-9-6	TEL 072-723-1353
(株) 大和生コン	〒 662-0934	西宮市西宮浜 1-16	TEL 0798-26-4600
(株) ライフコンクリート工業	〒 664-0842	伊丹市森本 8-96-1	TEL 072-780-3300
新関西菱光(株) 尼崎工場	〒 660-0842	尼崎市大高洲町 5	TEL 06-6409-1251
新淀生コンクリート(株) 本社工場	〒 555-0041	大阪市西淀川区中島 2-9-82	TEL 06-6471-4456
谷畑産業(株)	〒 563-0035	池田市豊島南 1-12-9	TEL 072-763-3071
司コンクリート(株)	〒 563-0043	池田市神田 2-19-17	TEL 072-752-0906
とどろみ鉱業(株) 本社工場	〒 563-0252	箕面市下止々呂美 672-1	TEL 072-739-2900
豊中レミコン(株) 本社工場	〒 561-0891	豊中市走井 2-11-10	TEL 06-6853-0661
ナニワ生コン(株) 尼崎工場	〒 661-0982	尼崎市食満 2-24-15	TEL 06-4960-2388
宮本生コン(株) 本社工場	〒 561-0846	豊中市利倉東 1-16-1	TEL 06-6863-2531
ムラタ生コン(株)	〒 562-0044	箕面市半町 3-14	TEL 072-722-5358
(有) ミトミ建材センター	〒 661-0026	尼崎市水堂町 4-5-30	TEL 06-6436-3081
(有) 武庫川生コン 本社工場	〒 662-0934	西宮市西宮浜 2-34-5	TEL 0798-35-6058
(有) 明伸コンクリート	〒 663-8142	西宮市鳴尾浜 1-6-2	TEL 0798-44-3930

南ブロック			
和泉生コンクリート(株) 本社工場	〒 598-0048	泉佐野市りんくう往来北 1-15	TEL 072-462-3901
(株) エヌ・エヌ・シー	〒 596-0113	岸和田市河合町 1396-1	TEL 072-447-1340
(株) 国土一	〒 596-0015	岸和田市地藏浜町 11-1	TEL 072-423-5900
(株) 西野建材 本社工場	〒 596-0802	岸和田市西大路町 218-1	TEL 072-443-0891
山洋コンクリート(株)	〒 598-0002	泉佐野市中庄 1070	TEL 072-463-0661
昭和産業(株) 本社工場	〒 598-0034	泉佐野市長滝 3647	TEL 072-466-7007
橋本生コンクリート	〒 598-0071	泉佐野市鶴原 3-12-18	TEL 072-462-1538
(有) イーコン	〒 596-0012	岸和田市新港町 16-1	TEL 072-430-6653
阪南ブロック			
大阪アサノコンクリート(株) 泉北工場	〒 592-0001	高石市高砂 1-11	TEL 072-268-1212
大阪アサノコンクリート(株) [旧 堺レミコン(株) 堺工場	〒 592-0001	高石市高砂 1-11	TEL 072-268-1212
(株) エスシー産業	〒 587-0011	堺市美原区丹上 330-5	TEL 072-363-5569
(株) 戎生コン 第一・第二工場	〒 593-8312	堺市西区草部 1263-1	TEL 072-275-1100
(株) 大宇宙産業	〒 585-0012	南河内郡河南町加納 751-1	TEL 0721-93-8451
(株) 岡本生コンクリート	〒 590-0136	堺市南区美木多上 1788-1	TEL 072-296-8000
(株) 関西宇部 堺工場	〒 592-8332	堺市西区石津西町 15-2	TEL 072-241-0461
(株) 西井商店堺臨海生コン 本社工場	〒 592-8331	堺市西区築港新町 1-5-1	TEL 072-241-0764
(株) 阪南大阪生コン	〒 599-8102	堺市東区石原町 1-16	TEL 072-254-2041
(株) 北栄産業	〒 594-1112	和泉市三林町 547-1	TEL 0725-56-6330
(株) モトヤマ 眞龍生コン	〒 590-0986	堺市堺区北波止町 42-40	TEL 072-282-1222
旭光コンクリート工業(株)	〒 585-0001	南河内郡河南町東山 725-1	TEL 0721-93-6478
新関西菱光(株) 泉北工場	〒 595-0075	泉大津市臨海町 1-46	TEL 0725-21-1136
泉北コンクリート工業(株) 本社工場	〒 592-0001	高石市高砂 2-8	TEL 072-268-1061
菱木生コン(株)	〒 593-8314	堺市西区太平寺 338	TEL 072-273-7551
富士上新生コン(株)	〒 590-0906	堺市堺区三宝町 9-417-2	TEL 072-223-9911
南大阪大進生コンクリート(株) 本社工場	〒 583-0991	南河内郡太子町春日 357	TEL 0721-98-2727
美和生コンクリート(株)	〒 587-0022	堺市美原区平尾 2365-1	TEL 072-361-6960
(有) コーシンコーポレーション 山政生コン	〒 587-0022	堺市美原区平尾 2365-1	TEL 072-369-7282
北摂ブロック			
猪名川菱光(株)	〒 666-0252	川辺郡猪名川町広根字神子ノ辻 7-1	TEL 072-766-0270
(株) 協栄建設	〒 666-0252	川辺郡猪名川町広根字神子ノ辻 14-4	TEL 072-766-0606
神戸ブロック			
伊万里建材(株)	〒 651-2126	神戸市西区玉津町上池 255-1	TEL 078-911-6463
SSK ロイヤル(株)	〒 651-2223	神戸市西区押部谷町木見 812-3	TEL 078-994-6000
(株) 上田組 生コン事業部	〒 651-2257	神戸市西区平野町中津 932	TEL 078-928-6630
(株) 関西宇部 神戸工場	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 41-1	TEL 078-431-3801
(株) 北神戸生コン	〒 651-1101	神戸市北区山田町小部字妙賀 11 番地 3	TEL 078-592-7175

神戸ブロック			
(株) 光榮 神戸工場	〒 651-1243	神戸市北区山田町下谷上字下の勝 13-1	TEL 078-581-1240
(株) 神戸エスアールシー	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 42	TEL 078-411-3123
(株) サンコー	〒 655-0861	神戸市垂水区下畑町 242	TEL 078-751-6437
(株) 泉北ニシイ 兵庫工場	〒 653-0033	神戸市長田区苅藻島町 1-1-31	TEL 078-671-0835
(株) 泰慶	〒 651-2142	神戸市西区玉津町二ツ屋 99-5	TEL 078-917-3440
(株) 溝尾 六甲生コン第2工場	〒 658-0042	神戸市東灘区住吉浜町 6	TEL 078-811-0461
(株) 明神コーポレーション	〒 651-2122	神戸市西区玉津町高津橋 703 番地の 1	TEL 078-912-8181
(株) ライブコンクリート	〒 651-2312	神戸市西区神出町南 621 番地の 14	TEL 078-965-2890
タイコー (株) 兵庫工場	〒 652-0866	神戸市兵庫区遠矢浜町 2-48	TEL 078-651-2323
千原生コンクリート (株) 神戸工場 II	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 36-8	TEL 078-436-8110
阪神生コン建材工業 (株) 神戸工場	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 27-24	TEL 078-413-2200
東神戸大阪生コンクリート (株)	〒 658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町 2-1	TEL 078-431-1321
兵協生コンクリート (株)	〒 652-0866	神戸市兵庫区遠矢浜町 2-48	TEL 078-651-1133
兵庫播磨コンクリート (株) 神明工場	〒 651-2143	神戸市西区丸塚 2-3-12	TEL 078-928-3053
播磨ブロック			
稲垣建材産業 (株)	〒 675-1362	小野市久保木町 1835	TEL 0794-63-2759
植田商事 (株) ((株) 姫路ユーエヌシー)	〒 672-8035	姫路市飾磨区中島 3059-13	TEL 079-235-4157
岡田建材 (株)	〒 675-1102	加古郡稲美町草谷 59-47	TEL 079-495-1788
尾上生コン (株)	〒 675-0025	加古川市尾上町養田 1577	TEL 079-423-0945
片岡生コン (株)	〒 679-3112	神崎郡神河町鍛冶 134-1	TEL 0790-34-0203
(株) ニシハリマ宇部 ((株) 姫路ユーエヌシー)	〒 672-8035	姫路市飾磨区中島 3059-13	TEL 079-235-4157
(株) 林建材店 生コン部	〒 675-0023	加古川市尾上町池田開拓 1951	TEL 079-423-1432
(株) 播州生コン	〒 675-1203	加古川市八幡町下村 1233-1	TEL 079-438-0357
(株) 兵庫生コン	〒 679-2215	神崎郡福崎町西治 137-1	TEL 0790-22-3748
高砂菱光コンクリート工業 (株)	〒 675-0023	加古川市尾上町池田 2075	TEL 079-423-2033
滝野生コン (株)	〒 679-0221	加東市河高 89	TEL 0795-48-3075
大開産業 (株)	〒 673-0723	三木市加佐字草荷野 1251-1 (工場)	TEL 0794-63-9090
(株) ヒメコン【旧 中西建材 (株)】	〒 679-2143	姫路市香寺町中仁野 446	TEL 079-232-0499
姫路大阪生コンクリート (株)	〒 672-8035	姫路市飾磨区中島 3059-7	TEL 079-234-1981
姫路菱光コンクリート (株)	〒 671-1132	姫路市大津区勘兵衛町 4-35-1	TEL 079-239-5611
兵庫播磨コンクリート (株) 東播工場	〒 676-0072	高砂市伊保港町 2-8-23	TEL 079-447-1534
双葉生コン (株)	〒 675-2312	加西市北条町北条 567	TEL 0790-42-0275
フラワー生コン (株)	〒 675-2231	加西市王子町 597-124	TEL 0790-48-2949
マツバ商事 (株) 高砂生コン	〒 676-0031	高砂市高砂町向島町 1474-25 (事務所 34)	TEL 079-442-3912
(有) 柴田商店 柴田生コン	〒 671-2244	姫路市実法寺字五反田 57-1	TEL 079-266-3666
友善生コンクリート (株)	〒 671-0221	姫路市別所町別所 982	TEL 079-252-8880
友善生コンクリート (株) 広畑工場	〒 671-1123	姫路市広畑区富士町 1	TEL 079-239-2539

淡路ブロック			
淡路生コンクリート工業(株)	〒 656-0473	南あわじ市市小井 440	TEL 0799-42-2271
淡路生コン工業(株)	〒 656-2132	淡路市志筑新島 2-5	TEL 0799-62-0421
(株)北淡建設 北淡路生コン工場	〒 656-1743	淡路市斗ノ内 1407-2	TEL 0799-82-1000
第一生コン(株)本社工場	〒 656-0511	南あわじ市賀集八幡 48	TEL 0799-54-0921
第一生コン(株)津名工場	〒 656-2132	淡路市志筑新島 1-10	TEL 0799-62-3500
兵庫コンクリート(株)	〒 656-0426	南あわじ市榎列大榎列 808-1	TEL 0799-42-2210
北神ブロック			
海山コンクリート(株)神戸工場	〒 651-1312	神戸市北区有野町有野字南尾 3842	TEL 078-982-8613
エスプレイスコンクリート(株)【旧(有)新生コンクリート】	〒 669-1357	三田市東本庄 2250-1	TEL 079-568-1851
(株)三田生コン	〒 673-1234	三木市吉川町福吉 340	TEL 0794-72-1250
北神戸コンクリート(株)	〒 673-1121	三木市吉川町米田 336	TEL 0794-72-1300
サンセイ生コンクリート	〒 651-1412	西宮市山口町下山口 1651-1	TEL 078-904-3691
三田宇部コンクリート(株)	〒 651-1504	神戸市北区道場町平田 1089	TEL 078-951-6931
兵庫西部ブロック			
赤穂生コン(株)	〒 678-0239	赤穂市加里屋 968-5	TEL 0791-43-2266
揖保川生コンクリート(株)	〒 679-4156	たつの市揖保町揖保上 384-3	TEL 0791-67-8121
(株)金海興業 相生コンクリート	〒 678-0072	相生市竜泉町 300-1	TEL 0791-22-3381
(株)岸本組 一宮生コンクリート	〒 671-4131	宍粟市一宮町安積 1400-8	TEL 0790-72-0282
龍野生コンクリート(株)	〒 679-4315	たつの市新宮町井野原 618	TEL 0791-75-0281
田中工業(株)	〒 671-2542	宍粟市山崎町船元 15-1	TEL 0790-62-4116
播磨土建工業(株)	〒 678-1223	赤穂郡上郡町釜島 334-1	TEL 0791-52-0098
船曳土木興業(株)	〒 679-5307	佐用郡佐用町円応寺 494-18	TEL 0790-82-2938
山崎生コン(株)	〒 671-2544	宍粟市山崎町千本屋 135	TEL 0790-62-2777

和歌山県広域生コンクリート協同組合

35工場

和歌山中央地区 / 橋本・伊都地区 / 有田・日高地区 / 紀南地区

代表理事 丸山 克也

〒 642-0031

和歌山県海南市築地 6 番地 17

TEL 073-483-1313 / FAX 073-483-0013

和歌山中央地区

株式会社上山商店	〒 641-0014	和歌山県和歌山市毛見 1436 番地	TEL 073-445-5111
有限会社紀州生コン	〒 640-0342	和歌山県和歌山市松原 394 番地	TEL 073-479-0740
株式会社酒直レミコン	〒 640-8404	和歌山県和歌山市湊 1334 番地	TEL 073-431-1388
内海生コンクリート株式会社	〒 642-0035	和歌山県海南市冷水 325 番地 22	TEL 073-482-5251
環産業株式会社	〒 640-8137	和歌山県和歌山市吹上 3 丁目 4 番 15 号	TEL 073-423-6246
杉山産業株式会社	〒 640-8404	和歌山県和歌山市湊 1342 番地 4	TEL 073-422-5031
和歌山共同建材株式会社	〒 640-8404	和歌山県和歌山市湊 1850 番地	TEL 073-453-8902
株式会社大東陽 生コンクリート工場	〒 640-6262	和歌山県和歌山市上三毛 968	TEL 073-477-1171
株式会社大東陽 本社	〒 640-8269	和歌山県和歌山市小松原通 1 丁目 1 番地 (大岩ビル 5F)	TEL 073-433-2225
紀ノ川大阪生コンクリート株式会社	〒 649-6321	和歌山県和歌山市布施屋 905-2	TEL 073-465-3670
第一生コンクリート株式会社	〒 649-6262	和歌山県和歌山市上三毛 968 番地	TEL 073-477-3222

橋本・伊都地区

有限会社紀見生コンクリート	〒 648-0091	和歌山県橋本市柱本 234	TEL 0736-36-1070
紀北生コン株式会社	〒 648-0086	和歌山県橋本市神野々 1224-1	TEL 0736-33-1313
南海砂利株式会社	〒 648-0043	和歌山県橋本市学文路 191 番地の 2	TEL 0736-32-0464
有限会社橋本生コン	〒 648-0091	和歌山県橋本市柱本 40-1	TEL 0736-36-7077

紀南地区

株式会社清本組	〒 649-2105	和歌山県西牟婁郡上富田町 2053	TEL 0739-47-1241
株式会社下野商店	〒 646-0057	和歌山県田辺市中芳養 719-1	TEL 0739-24-1331
田辺小野田レミコン株式会社	〒 646-0059	和歌山県田辺市古尾 19 番 1 号	TEL 0739-22-1090
田辺生コンクリート工業株式会社	〒 643-0032	和歌山県有田郡有田川町天満 15-5	TEL 0737-52-4370
紀伊生コン株式会社	〒 644-0004	和歌山県御坊市名屋 3 丁目 9-6	TEL 0738-22-0863
ワシン建設株式会社	〒 646-0061	和歌山県田辺市上の山 1 丁目 3 番 2 号	TEL 0739-24-2678
株式会社宮脇組	〒 646-1101	和歌山県田辺市鮎川 609-5	TEL 0739-48-0059
有限会社きのくに生コン	〒 646-0216	和歌山県田辺市下三栖 1475-105	TEL 0739-25-9303
南紀田辺生コン有限責任事業組合	〒 646-0216	和歌山県田辺市下三栖 1475-105	TEL 0739-25-9303
南部生コン工業株式会社	〒 645-0011	和歌山県日高郡みなべ町気佐藤 657 番地	TEL 0739-72-4314
有限会社西村砂利	〒 645-0011	和歌山県日高郡みなべ町気佐藤 657 番地	TEL 0739-72-3681
日置川開発株式会社	〒 649-2511	和歌山県西牟婁郡白浜町日置 525 番地	TEL 0739-52-2015

有田・日高地区			
有限会社印南生コンクリート	〒 649-1522	和歌山県日高郡印南町古井 188-1	TEL 0738-45-0231
中津産業協同組合 中津生コン	〒 644-1122	和歌山県日高郡日高川町高津尾 1606 番地の 1	TEL 0738-54-0339
日高生コンクリート株式会社	〒 644-0025	和歌山県御坊市塩屋町北塩屋 676 番地	TEL 0738-22-1286
株式会社山久 由良生コンクリート工業所	〒 649-1104	和歌山県日高郡由良町江ノ駒 448-6	TEL 0738-65-1133
株式会社セイシン・レミコン 工場	〒 649-1221	和歌山県日高郡日高町大字志賀字岩戸 4339-1	TEL 0738-65-1777
株式会社セイシン・レミコン 本社	〒 649-1111	和歌山県日高郡由良町里 376 番地の 10	TEL 0738-65-3534
美山生コンクリート株式会社	〒 644-1201	和歌山県日高郡日高川町川原河 472 番地	TEL 0738-56-0345
株式会社セイシン・マテリアル 工場	〒 644-0003	和歌山県御坊市島外川原 1093 番地	TEL 0738-23-2511
株式会社セイシン・マテリアル 本社	〒 644-0011	和歌山県御坊市湯川町財部字東新田 1057 番 2	TEL 0738-23-1281
湯浅生コン株式会社	〒 643-0004	和歌山県有田郡湯浅町湯浅 2977	TEL 0737-63-1141
スカイコンクリート	〒 643-0614	和歌山県伊都郡かつらぎ町花園新子 256-2	TEL 0737-26-0154

悲しみすら消えた町、双葉町。

8年目の3.11に臨む福島県双葉町 帰還困難区域に、未だ見えない、ほんとうの春。

原発事故の被害による、 帰還困難区域を視察。

どす黒い津波に流される船、自動車、家…TVに映った凄まじい光景に、多くの人が目を疑ったほどの大災害となった東日本大震災。この災害の特長は、地震と津波による被害に加えて、東京電力福島第一原子力発電所のメルトダウン（炉心溶融）など、チェルノブイリ原子力発電所事故と同じレベルの大惨事が起こったことだ。

結スタッフは、親交のある建設政策研究所等が2018年12月に開催した〈第25回全国建設研究・交流会〉の現地視察に同行、被害から今年で8回目の3月11日を迎える、福島県の帰還困難区域を訪れ、今も続く悲惨な状況をレポートする。

視察したのは、福島第一原発のある大熊町に隣接し、比較的、放射線量の多い双葉町（以降、同町）だ。同町では、人の通る所は表土から5cmの土を取り除いて除染しているものの、それ以外の場所はまだ除染ができていない所も多い。山間部や野原など放射線量の高い所には未だ入れない場所もあり、8年たった今でも、除染完了までこの先20〜30年かかると言われている場所もある。事前情報によると、双葉町内には、空間線量3マイクロ

シーベルト（ICRP〈国際放射線業務協会〉から、業者ではなく一般人の方の放射線量は年間1ミリシーベルトまでと2007年以降、勧告が出されている）程度の地点があり、今も住民は一人も帰還していない。動いているのは、個人住宅を中心とした解体工事の関係者と重機のみだ。

私たちは、バスで現地へ入ったが、放射線量の高いところを走ると、バスの中でも線量計から警告音が鳴り響き、そのときは一瞬バスの中に緊張が走る。特別な許可を得てはいるが長時間は居られないため、「しっかりと見届けなければ…」と、気持ちを引き締めつつ現地へ向かった。

故郷に戻れない、 双葉中学の卒業生たち。

同町内に入ってます目につくのが、いたるところにある規制線やバリケートだ。そこは警備員に許可証を見せないと入れない。

視察が許された地域周辺では、一部で井戸を掘って応急的に水が使えるように整備しているが、基本的に水道も下水道も電気も復旧出来ていないという。

視察地域では家は傾き、門は倒れたまま、家の



バスの中では、被害の状況に加えて放射線量の注意も行われた。

中には生活で使っていた物もそのまま、震災の後片付けもしていない状態のまま残されている。まさに時計が止まったままだ。この状況を見ると、原発事故だけでなく、地震だけでもかなりの被害だったことがわかる。その震災翌日に原発の事故が発覚し、あわてて避難していったのが見てとれる。

バスを降りて、町立双葉中学校へ入った。同校は、避難場所になっていたため、簡易トイレや

KURS レポート

第7回



国道沿いには地震で崩壊した家屋や商店などが続く（2018年12月3日撮影）。



トイレの水を流すためのバケツなどが当時のままで。地震当日は卒業式だったために、教室の黒板には、当時の寄せ書きが描かれたままの状態が残っていた。

案内人の話によると、原発事故発生時は情報も無く、先生方も情報を得るのに苦労したとのこと。とりあえず、入ってきた情報は「西へ逃げる!」ということだけだったそうで、当時の学校には、約700人が避難する避難場所となっており、家庭は避難民の車でいっぱいだったため、全員その車に分乗してもらい、とにかく西へ向かって避難したそうだ。それからもうすぐ8年、あの日に卒業した子供たちはもう社会人になっているのだから、故郷にはまだ戻れない。いつ戻れるかも分からない。そんなことを考えると心が潰れそうになる。

視察を終えた私たちは、皆、重い気持ちで現地

を後にした。私たちの帰った後、この町はまた無人に戻る。泣き声も聞かえない。悲しみすら消えた町だ。これほどの悲しみがあるだろうか。地震当日から7年を越える月日が経ったが、まだまだ災害は終わっていないことが確認できた。

同町には放射線による被害はもちろん、避難先での差別などの問題、町の再生の問題などが山積している。しかしそれらが解決されていなくてもかわらず、そんな現実を無視して今も動いている原発・エネルギー政策に憤りを感じながら現地を後にした。福島にほんとうの春は、いつ訪れるのだろうか…。命と安全を守る建設業界の人間の一人として、今後とも成り行きを見届けたい。

高速道路の区間ごとに放射線量の表示があります（写真上）、双葉中学の内部を視察（写真中）、教室に残された日直の「めあて」（写真下）、（2018年12月3日撮影）。

Mar.

近畿生コン関連協議会集合交渉

第1回 日時：平成31年3月6日(水) 18:00開始

場所：ヴィアーレ大阪
大阪府中央区安土町3-13
<http://www.viale-osaka.com/>

第2回 日時：平成31年3月13日(水) 11:00開始

場所：大阪広域生コンクリート協同組合 会議室
大阪府中央区瓦町2丁目4番7号 新瓦町ビル

第3回 日時：平成31年3月20日(水) 11:00開始

場所：大阪広域生コンクリート協同組合 会議室
大阪府中央区瓦町2丁目4番7号 新瓦町ビル

第4回 日時：平成31年3月27日(水) 18:00開始

場所：ヴィアーレ大阪
大阪府中央区安土町3-13
<http://www.viale-osaka.com/>

「結」公式 Web サイトを近々オープン!!

生コン業界広報誌「結」は、4月上旬の「公式 Web サイト」オープンを目指して、ただいま鋭意制作中です。オープン後は、バックナンバーや各記事の閲覧、その他のコンテンツなどをスマホやタブレットなどでご覧いただけます。

また今後、冊子と連動しつつ Web サイト独自のコンテンツなども予定しておりますので、ご期待ください。今後とも広報誌「結」をよろしくお願いいたします。



「結」
「声なき悲しみ」

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、今年の3月でまる8年が経過します。当時、生まれた子供が小学3年生になりますから、8年の歳月は一定の長さを感じさせます。大震災の被害は自然災害に加えて、福島原発の原子力災害もあるため、被災地の復興を一言で語るのは非常に難しい問題です。

岩手県、宮城県などは、主として地震と津波の災害が大きく、大体の市町村は、将来の津波対策のために高台に移転して街並みを復興することになりました。しかし、原発事故被災地の福島県の状況は複雑です。東電の発表でも収束までに40年と言っていますが、あと30年ほどで廃炉などを完了するのは不可能です。

原発事故前の福島県の年間予算規模は8,000億円程度でしたが、事故後は約2倍程に。うち6,000億円が復興関係予算で、大部分が土木・建築関係に使われます。その他に、除染などで環境省の直接投資が相当入りますから、関連業界はまさにバブルです。

一方では、未だに県内外に避難している県民が5万人おり、復興などは実感出来ません。確かにインフラなどは立派なもの次々と造られるため、ぱっと見には福島の復興を感じさせるかも知れません。全国の原発再稼働の宣伝に使われる現実があります。

建交労現地対策本部は、当地で8年間、建設労働者の賃金改善、不払い相談、現場の安全確保などに奮闘して来ました。節目の10年を迎えるまで、あと2年は頑張ります。

——以上は、建交労現地対策本部 森谷稔対策本部長から届いた「東日本大震災発生から8年が経過した被災地の現状」より抜粋引用したものです。

今回、「結」編集スタッフは、福島県の帰還困難区域、双葉町を視察、そこは被災から8年を迎えるというのに、故郷へ帰れない人たちの、声なき悲しみに溢れていました。

私たち一人ひとは、直接復興に関わることは出来ないかも知れませんが、それでも見た目の復興に惑わされることなく、この声なき悲しみと、その向こうに横たわる利権から目をそらさない。そんな姿勢を貫き通したい。

「結」は、これからも誌面を通して、被災者や災害弱者、復興を支援する労働者の心や暮らしに、寄り添い続けたいと思っています。

2019年3月

「結」編集スタッフ

「結」 Vol.9 2019年

2019年3月6日

発行・発行所 **KURS** // Kinki Union council of
Ready-mixed concrete Staff

〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-12-9

発行人 岡元 貞道

編集 「結」編集委員会

第12回 未来の街を描こう!! 絵画コンクール 受賞作品

テーマ 「世界に見せたい未来の街」



Silver Palette (シルバーパレット) 賞



『やさしい色の未来の街』
牧尾 祐希さん (1年生)



『未来の玉造』
内山 綾音さん (3年生)



『しん海の魚とすめるまち』
月野 遥さん (3年生)



『みんなで住もう! 未来のツリータウン』
中村 惺那さん (5年生)



『じくうらんりゅう』
大仁 翔太さん (2年生)



『のぞいて見よう、私達の未来』
花崎 衣希さん (6年生)

主催：大阪広域生コンクリート協同組合 産経新聞社
後援：大阪府 大阪府教育委員会 大阪市 大阪市教育委員会

詳しくは
コチラのページを
ご覧ください

